



## 9～12カ月児の事故予防



※ 赤ちゃんから目を離しても大丈夫な環境を作りましょう！  
活動範囲はさらに広がり、周囲への興味も強くなる時期です。

1. たばこ・灰皿や薬はいつも手の届かないところへ置く。  
ジュース等の空き缶を灰皿代わりにしない。
2. ボタン電池や硬貨、ピアスなどの小物を机の上などに置いたままにしない。  
あかちゃんの口は最大32mm。
3. つかまり立ちやつたい歩きをするときは、そばについておく。  
家具の角は安全グッズなどでカバーしておく。
4. 階段の上下階の両側に転落防止用の柵を取り付け、いつも閉めておく。
5. 子供用の椅子は安定の良い物を使う。ハイチェアに座らせたときは必ず安全ベルトを締める。
6. ストーブやヒーターは必ず安全柵で囲っておく。
7. テーブルクロスは使用しない。  
テーブルや柵上の食器・ビンなどには、さわれないようにしておく。
8. 自動車ではベビーシートに乗せる。軽い事故でも腕力では支えられない。
9. 入浴中の赤ちゃんから目を離さない。  
入浴後はお湯を抜いておく。洗面器程度の水でも溺れることがある。  
浴室に勝手に入れないようにしておく
10. 食べ物は硬さや大きさを考え、適量をゆっくり与える。  
ピーナツや枝豆などの豆類は3歳過ぎまで与えない。  
窒息や肺炎の原因になることが多い。



**ハピネス こども クリニック**

お問い合わせは…

**087-848-9178**

